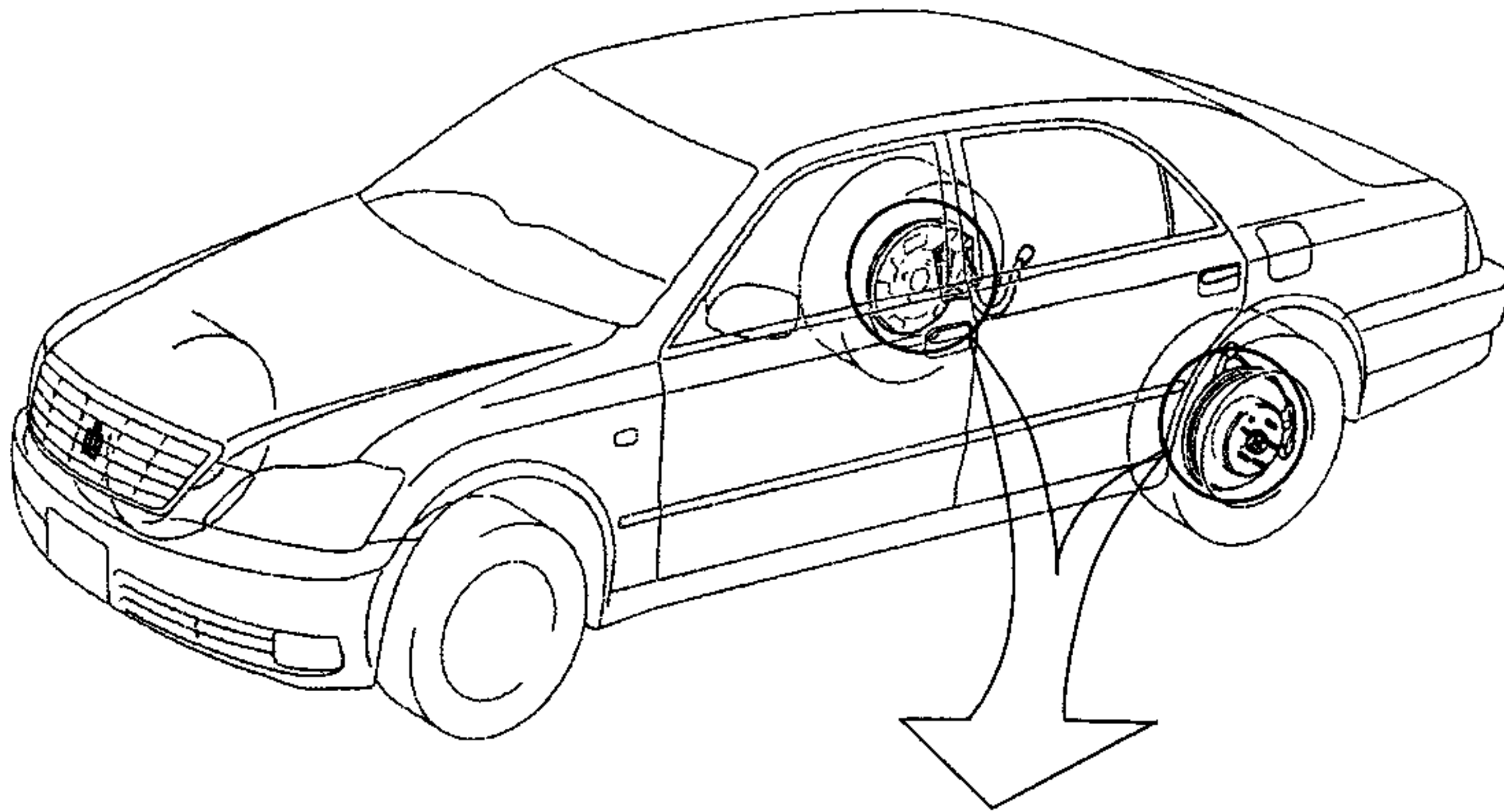
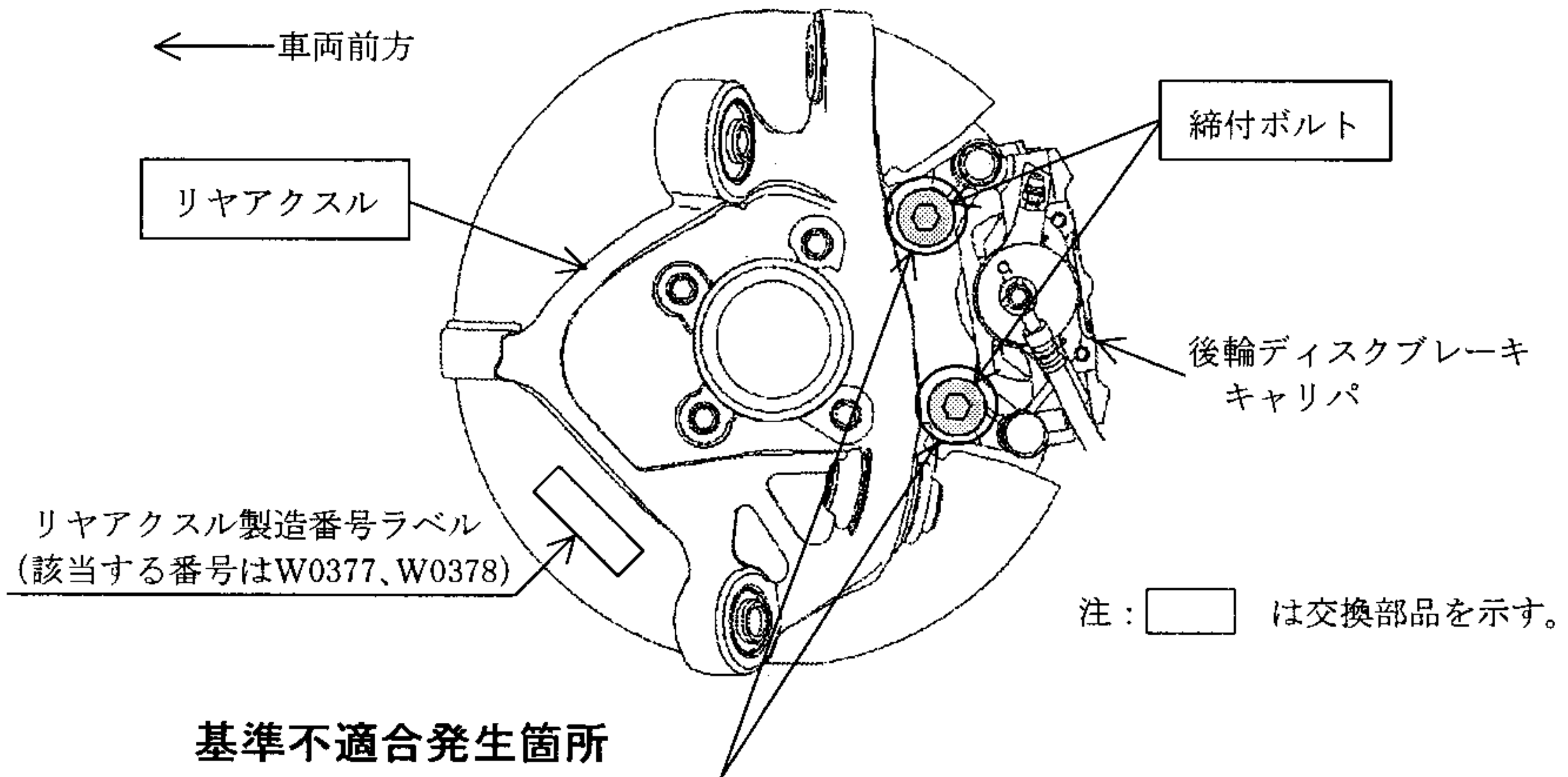


改善箇所説明図



右後輪内面視



後輪ディスクブレーキのキャリパを固定する締付ボルトの座面の加工が不適切なため、急制動を繰り返す等の運転を行うと、当該ボルトがゆるむものがある。そのため、制動時に異音が発生し、最悪の場合、ボルトが外れてキャリパがリヤホイールの内側に接触し損傷するおそれがある。

改善の内容

全車両、リヤアクスルの製造番号を確認し、該当するものはリヤアクスルを新品と交換するとともに当該ボルトを良品と交換する。

識別：改善済車両にはエンジンルーム内の車台番号打刻位置の左側に黄色ペイントを塗布する。